



PLUS ULTRA

# HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 平成28年3月31日発行



▲卒業式での学校長式辞

◀全国選抜大会への出場を決めた生徒たち

▼予餞会記念写真



平成28年

# 3/31

# 第52号

- 「凡事徹底」 学校長 岡部 宣男 ..... 2ページ
- 卒業生に贈る言葉 ..... 3ページ
- 学窓の思い出 ..... 4~5ページ
- 進学状況・就職状況 ..... 6~7ページ
- 関東大会・国民体育大会・全国大会 ..... 8~10ページ
- 白鷗大学だより ..... 11ページ
- 白鷗祭 ..... 12ページ
- 本校舎トピックス ..... 13ページ
- 富田キャンパストピックス ..... 14ページ
- SSH活動報告 ..... 15ページ
- PTAだより・他 ..... 16ページ



# 凡事徹底

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

522名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

皆さんの3年間を振り返ると、きっと様々な出来事がよみがえってくると思います。勉強や部活動、生徒会活動や学校行事など、一人ひとりが一所懸命努力し、悩み、力を注いできました。時に厳しく、時に苦しく感じたかもしれませんが、その一つ一つが皆さんの財産です。希望する進路を実現するために、目標の大学への進学を目指し、朝学習から、夜の8時学習まで、学校でも、家庭でも、自らの課題の解決に向けて懸命に努力してきました。

SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）の活動も今年度で3年目を迎えました。1期生である皆さんの今年の研究発表会は、レベルの高い内容でした。それらの課題研究も着実に後輩に受け継がれています。

部活動においては、毎日毎日、黙々と練習してきました。時には怪我をしたり監督やコーチや先輩に叱られたり……、それでも、目標を持って練習を続けていました。表彰式では、88名もの皆さんが、関東大会や全国大会で活躍し、理事長賞や校長賞を受賞しました。そのうち28名は、栃木県高体連や高文連から、3年間の弛み無い努力を讃えられ表彰されました。今

後は大学や実業団でさらに研鑽を積み、2020年の東京オリンピック出場を目指してください。



ポスターセッションの様子  
～SSH生徒研究発表会にて～

皆さんは4月より、それぞれの進路で、また今までは違った新しい環境の中で目標に向かって生活していくこととなります。今まで培ってきた知識と技能、自分にとって何が必要か、何が大切かを考える判断力、そして底力のある人間力、他人に対しての優しさといった社会性をもってすれば、21世紀の社会を生きていくことに心配なことは何もありません。大切なことは、「凡事徹底」です。凡事とは、当たり前のことです。「凡事徹底」とは、当たり前のことを当たり前にやるのではなく、できないほど一所懸命やるという意味です。

昨年、ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智先生は、アフリカなどの熱帯地方における風土病

の特効薬の開発につながる放線菌をゴルフ場の土壌の中から発見し、3億人以上の人たちを感染症から救いました。ポケットに常にビニール袋を持ち歩き、40年あまりで、480種の有機化合物を発見し、そのうちの26種は、ヒトや動物の薬として世の中で役立てられています。先生は今でもポケットにビニール袋を持ち歩いているそうです。

アメリカ大リーグ、マイアミマーリンズのイチロー選手は、「今までに、これだけはやったな」と言える練習はありますか」という問いに「僕は高校生活の3年間で、1日たった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その10分間の素振りを1年365日、3年間



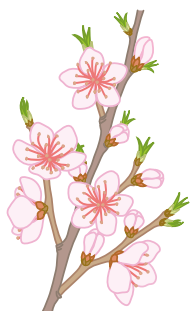
呼名されて起立する生徒たち  
～表彰式にて～

間続けました。これが誰よりもやった練習です」と答え、「小さなことの積み重ねが、とんでもない所へいく道だった」と話しました。

大村先生の、40年以上の土や木の根の採取。イチロー選手の毎日の素振り。1週間や1か月なら誰でもできますが、継続するのは難しいことです。だからこそ「凡事徹底」に挑んでください。本校のモットーであるプルスウルトラとはこういう精神です。

そして、自分だけのためではなく、社会のためにも、みなさんの力を惜しまずに提供してください。先人の夢や努力や悔いを引き継いで、お互いに助け合う、幸せな社会を築いて行くことが、皆さんに課せられた使命です。皆さん一人ひとりが、これからの時代を任せられた人間として、ますます能力や知性を伸ばしてくることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。大きく成長されましたお子様の姿をご覧になり、感激もひとしおのことと思います。3年間、本校に賜りましたご支援とご理解に対しまして、心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



# 卒業生に贈る言葉

## 挨拶



教頭・普通部長 長谷川 嘉明

ご卒業おめでとうございます。

3年間の課程を終え、学舎から巣立っていく卒業生の皆さんには「挨拶」することを今まで以上に心掛けてほしいと思います。

生徒会による朝の挨拶運動や、門の入口で生徒間で交わす元気な挨拶など、皆さんの学校生活は挨拶から始まっています。当たり前前のことのようにですが、素晴らしいと思えました。

挨拶は、様々なところで自然に交わされているのですが、近年の社会で、挨拶ができない人を多く見かけます。どちらが先に挨拶するかではなく、顔を合わせた時に「お互い元気に、今日も充実した1日を過ごそう」という気持ちと愛情を込めて挨拶をすることが大切です。挨拶は相手の存在を認めることであり、好意と尊敬の表明でもあります。何気ない挨拶で

## 感謝の順番



総合部長 長 光則

卒業おめでとうございます。新しいスタートラインに立った皆さんのさらなる活躍を心から期待しています。白鷗足利高校で培った3年間の成果を遺憾なく発揮して

## 『大いなる精神は静かに忍耐する』

教頭・進学部長 中戸 康平

私の好きな言葉を贈ります。「大いなる精神は静かに忍耐する」。有名なゲーテと共に18世紀のドイツで活躍したシラーという詩人の言葉です。「気高い志を果たすために心静かに忍耐できる人は、大いなる精神の持ち主である」というような意味だと思っています。皆さんも、これからの人生で予期せぬ困難に遭遇した時は、大声で慌てふためいたりせずにとっしりと構え、黙って耐え忍びながら努力を続けて下さい。ぐっと耐えることで成し遂げられることも多いのです。是非、「耐える力」を養って、目標を達成していつて下さい。健闘を祈っています。

卒業おめでとうございます。今年の卒業生の皆さんは、日本の選挙制度史上初めて18歳で選挙権を有した世代です。18歳以上の若者が選挙を通して政治に参加するようになったら、世の中が良くなると言われるように、日本や世界の出来事にしっかり目を向けて、確かな判断力を身につけて下さい。皆さんが次の時代の担い手となるのです。

さて、皆さんに卒業の饒として

## エール



文理部長 須藤 敏哉

皆さん、花好きだった父が遺した花木が、季節ごとに美しい花を咲かせます。特に春は、梅、コブシ、白木蓮、椿、桃、躑躅、最も美しい季節です。これら春に咲く花木のつぼみは、開花の半年から9か月以上も前にできあがっています。木々は、花が散るとすぐに次の年への準備を始めます。枝を伸ばし、葉を茂らせ、せつせと養分を作り、来春のつぼみを作ります。そして秋の夜長を感じず

いでしようか。お世話になった先生方には感謝してください。相談に乗ってくれた友人にも感謝しなければなりません。また、部活動の仲間にも、母校となる「白鷗足利」という学校自体にも感謝と愛着を持ってほしいと思います。そして何より、いつも皆さんのことを当り前のように心配してくれた家族には、何をおいても真っ先に感謝の気持ちを持たなければなりません。

我が家では、花好きだった父が遺した花木が、季節ごとに美しい花を咲かせます。特に春は、梅、コブシ、白木蓮、椿、桃、躑躅、最も美しい季節です。これら春に咲く花木のつぼみは、開花の半年から9か月以上も前にできあがっています。木々は、花が散るとすぐに次の年への準備を始めます。枝を伸ばし、葉を茂らせ、せつせと養分を作り、来春のつぼみを作ります。そして秋の夜長を感じず

ると、今度は、冬を乗り越えるために、つぼみの開花を封じる物質を作ります。休眠物質と呼ばれるこのホルモンは、厳しい寒さにさらされて壊れ減少し、休眠物質がなくなると初めて、つぼみは開花へと向かうのです。卒業おめでとう。本校で学んだ3年間に、皆さんは大きく枝を伸ばし葉を茂らせ、つぼみの準備をしてきました。しかし卒業後開花ではありません。皆さんはまだ初夏の頃の木々です。これからまだ夢に向かって養分を蓄え、厳しい冬を乗り越える力と知恵を育まねばなりません。来るべき春に大輪の花を咲かせられるよう、これからも努力を怠らずに進んでください。



# 学窓の思い出



卒業式の様子



特別選抜コース  
3年 1組  
川島 理菜  
(藤岡一中)

## 上智大学 総合人間科学部(心理学科)

あつという間に過ぎ去ってしまった高校生活。しかしその反面、本校で過ごした3年間はとても充実したものでした。毎日のようにある小テストに四苦八苦ししながらも、素晴らしい学習環境の中、友人と共に勉強した日々は本当に良い思い出です。個性豊かで優しいクラスメートに恵まれ、毎日笑顔が絶えない学校生活でした。また、富キャン祭や体育祭などの行事は、クラス全員が力を合わせて取り組む絶好の機会となり、友達との絆が一段と深まりました。

卒業式では、成績がなかなか伸びず、悩んでしまった時期もありました。そんな時、たくさんの方の支えがあったからこそ、挫けることなく勉強を続けられたのだと思います。入試前、不安で仕方がなかった私の話を温かく聞いてくれた先生や、夜遅くまで熱心に指導してくれた先生方のおかげ



進学コース  
3年 5組  
蛭間 伶  
(桐生広沢中)

## 鹿児島大学 理学部 地球環境科学科

本校で過ごした3年間は、様々な経験を通して私を大きく成長させてくれました。

文武両道を目指して本校へ入学した私は、進学コースに在籍しながら陸上競技部に入部しました。しかし、学習の難度や部活動の練習量は予想以上であり、3年時には最上級生という重圧と進路への焦りから退部を考えたこともありました。そんな私がどうして部活動を最後までやり遂げ、第一志望の大学に合格することができたのか。それは、共に苦難を乗り越えたり、私が辛い時には声をかけてくれたりした仲間や、どんな時も私をサポートしてくれた家族の存在があったからです。また、SSHの活動を通して出会った先生方のお



普通コース  
3年 4組  
戸田 樹  
(乙女中)

## 明治大学 政治経済学部 経済学科

私にとって白鷗での高校生活は、多くの人とのつながりを実感し、自分のやりたいことは何かを、明確にすることができた、とても充実した3年間でした。入学当初は、人と接することに自信が持てず不安な毎日を送っていましたが、ところが、「体を鍛え

で、受験を乗り切ることができました。心から感謝しています。大学進学後も、きつと多くの困難に遭遇することでしょう。しかし、それに屈することなく、常に目的意識を持って、自分の決めた道を進んでいきたいと思っています。かげで、明確な進路目標も見つけることができました。これらの存在なくして今の私はありません。私を支えてくれた全ての人々への感謝は決して忘れません。大学進学後も、本校で学んだことを忘れず努力し、勉学に励みます。そして、私が社会人になった時、支えてくれた大切な人たちに恩返しをし、誰かを支えることができる人間になりたいです。



在丸目の3号館と新校舎



文理進学コース  
3年 2組  
柴田 秋穂  
(美野里中)

文教大学  
教育学部  
学校教育課程  
体育専修

高校3年間で一番心に残っていることは部活動です。私はソフトボール部に所属していました。入学前の私は恥ずかしがり屋で人と話すことが苦手でしたが、部活動で技術だけでなく、人として当たり前のこと、誰かの為に尽くすことを学んだことで、困っている人に率先して声を掛け、手伝えるようになりました。次第に多くの人たちと会話する機会も増え、今では、会話することが楽しいと感じています。挨拶や手伝い、掃除など、人として当たり前のことに取り組みただけかもしれないですが、自分を変えるために「一歩踏み出



総合選択コース  
3年 1組  
小室 恵太  
(古河一中)

尚美学園大学  
芸術情報学部  
情報表現学科

「光陰矢のごとし」の言葉通りあつという間の3年間でしたが、大変充実した高校生活を送ることが出来ました。

その中で特に印象に残っていることは、総合選択コースの特色の一つである学習発表会、さらにはSSHの研究発表会など、仲間と協力し合いながら完成に向けて取り組む機会を得られたことです。私は情報メディアエリアに所属していましたので、これらの貴重



在校生総代送辞  
文理2年1組 須藤隆寿君(高崎一中)

な経験を通して、情報機器を活用し、「表現する」ことの楽しさを改めて知ることができました。今後は情報メディアエリアで学んだことを踏まえて、より深く学ぶために大学へ進学し、将来は映像や音響の分野に関わり、「人を感動させる」仕事に就きたいと思っています。

白鷗大学足利高等学校の諸先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。



商業コース  
3年 1組  
中根 智也  
(小山二中)

白鷗大学  
経営学部  
経営学科

本校で過ごした3年間は、私にとつてとても大きな財産になりました。私は、本校に入学を決めた時に、3年後は白鷗大学に進学することを目標にしました。それを実現するために文武両道を掲げ、

日々努力することを心に決めました。学習面では一般教科はもちろんのこと、商業コースの特色でもある資格取得にも真剣に取り組みました。時には、部活動で疲れて勉強したくないと思ったこともありましたが、目標実現の為に頑張ることができました。

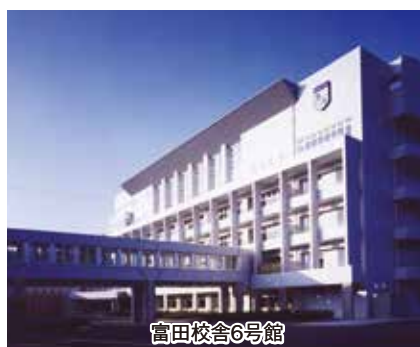
部活動は軟式野球部に所属し、全国大会出場を目標に仲間と切磋琢磨しながら頑張りましたが、最後の大会に負け、目標を達成することは出来ませんでした。しかし、部活動を通して技術はもちろん、人間性や協調性、信頼することの大切さなど、数えきれないほどの素晴らしいものを手にすることが出来ました。

予餞会



1月29日、本校舎新体育館で予餞会が行われました。

最初は、足利市のマスコットである「たかうじ君」が登場、催し物としては、バンド演奏から始まり、生徒からは「シフクノオト」「Giraffe」「summer life」の3団体が参加しました。有志職員によるバンドも登場し、軽快な音楽演奏が続きました。休憩後は、有志によるダンス披露、蓬田先生のトークと歌、



富田校舎6号館

私はこの春から、高校入学時に目標としていた白鷗大学に進学します。本校の3年間で得たことを大学生活に生かし、先生方や仲間への感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。

3年間ありがとうございました。

バントトワリング部によるボンボンとバトンを使った演技で会場は明るく盛り上がりました。

ここで特別ゲストの「とにかく明るい安村」さんが登場。トークと得意のネタを披露、会場中で笑いがおきました。その後、写真部による3年生向けのスライドショーを視聴し、全員が学校生活の思い出を振り返っていました。最後に、校歌を高らかに大合唱し会を閉じました。3年生はもちろん生徒一人ひとりとつとめて、高校生活の良い思い出の1ページになったことと思います。



尚美学園大学	平成国際大学	目白大学	文京学院大学	文京大学	日本工業大学	東京国際大学	聖学院大学	城西大学	埼玉工業大学	埼玉医科大学	桐生大学	群馬バース大学	高崎商科大学	群馬医療福祉大学	高崎健康福祉大学	東京福祉大学	上武大学	文星芸術大学	獨協医科大学	国際医療福祉大学	足利工業大学	流通経済大学	つくば国際大学	いわき明星大学	仙台大学	青森大学	北海道科学大学	専修大学	駒澤大学	日本大学	東洋大学	北里大学	自治医科大学	日本赤十字看護大学	芝浦工業大学	明治学院大学	國學院大学	獨協大学	成協大学	白鷺大学	
2名	4名	1名	4名	12名	6名	4名	1名	2名	6名	3名	3名	2名	1名	2名	9名	1名	2名	1名	4名	5名	3名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	3名	1名	7名	3名	7名	1名	3名	1名	6名	5名	1名	10名	2名	260名

東京邦大	東京薬科大	東京電機大	東京女子医科大	東京工科大	東京経済大	東京家政大	東海大	帝京大	玉川大	拓殖大	大東文化大	大正大学	清泉女子大	白百合女子大	女子美術大	女子栄養大	昭和女子大	昭和大	順天堂大	国士館大	工学大院	恵泉女学園大	国立音楽大	杏林大	共立女子大	大妻女子大	亜細亜大	麗澤大	秀明大	帝京平成大	千葉工業大	清和工業大	聖徳大	淑徳大	国際武道大	神田外語大	人間総合科学大	日本女子体育大	ものつくり大	共栄大
1名	2名	5名	3名	8名	1名	3名	6名	7名	2名	1名	3名	2名	1名	1名	1名	2名	4名	1名	3名	1名	1名	3名	2名	2名	1名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	3名	1名	1名	3名	1名	2名	1名	1名	1名

**〔専門学校合格者〕**

神田外語学院	日本工学院専門学校	慈恵柏看護専門	関東職業能力開発大	大宮国際動物専門学校	マロニエ医療福祉専門学校	宇都宮メディア・アーツ専門学校	宇都宮ビジネス電子専門学校	太田自動車大学校	群馬自動車大学校	埼玉自動車大学校
1名	2名	1名	1名	1名	3名	1名	1名	1名	1名	5名

他専門学校等87名合格

**〔短期大学合格者〕**

関東短期大学	桐生大学短期大学部	高崎商科短期大学	佐野短期大学	埼玉純真短期大学	昭和学院短期大学	上野学園短期大学	足利短期大学	大垣女子短期大学	大妻女子短期大学	帝京短期大学	東京福祉大学短期大学	國學院大学栃木短期大学
1名	1名	1名	10名	4名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	1名

**〔105名〕**

**〔短期大学合格者〕**

二松学舎大学	日本歯科大学	日本女子体育大学	横浜薬科大学	東京都市大学	武蔵野大学	明星大学	立正大学	東京未来大学
1名	2名	1名	1名	3名	4名	1名	4名	1名

他私立大学36名合格

**栃木県外**

曙ブレーキ工業(株)
石井工業(株)
しげる工業(株)
ニプロ医工(株)
富士重工業(株)
(株)ヨシカワ
佐川急便(株)
車邦車輛(株)
東武エンジニアリング(株)
戸田中央総合病院
(株)なとり
西場工業(株)
日野自動車(株)
フジパルグループ本社(株)
ヤマザキナビスコ(株)
埼玉県警

平成27年度の  
**主な就職先**

**栃木県内**

アキレス(株)	第一レジン工業(株)
(株)あわしま堂	(株)タツミ
いすゞライネックス(株)	日新工業(株)
医療法人もみの木会 わたなべ整形外科	(株)深井製作所
共和工業佐野工場(株)	松吉医科器械(株)
佐藤金属工業(株)	ムロオカ産業(株)
しのだ歯科クリニック	吉田テクノワークス(株)
社会福祉法人星風会	(株)吉野工業所栃木工場
新日本金属(株)	小山消防署

本校への求人数は、昨年に引き続き少しずつ回復傾向にあり、本年度も県内・県外共に「良好」な状態となりました。

9月から始まった就職試験（第一次）での内定率は、約80%でした。その後、不合格となった生徒などを対象に各地で実施された合同面接会を経て、1月末現在での内定率は100%となりました。

各事業所が、就職希望者に対して求めている人物像とは、何事も意欲的に取り組む、また高いコミュニケーション能力を持ち、周

りの人間と協動的に行動することができる人物です。

そこで、学校生活の中で次のことに留意して下さい。

①生活態度を正すこと（欠席・遅刻・早退をしない）  
②基礎学力の向上（就職試験での学力考査・面接試験対策）  
③部活動・資格試験への積極的な取り組み

これらのことは、就職試験に直結する大切なことです。自分自身の将来をしっかりと見据え、就職活動にのぞんで下さい。

**就職状況**

～企業の求める人材～

～進路指導部～

# 活躍する部活動

## 関東大会

### 陸上競技部

女子4×100mリレー3位入賞

10月24日・25日、群馬県前橋市の正田スタジアム群馬において、関東選抜新人陸上競技選手権大会が行われました。本校からは、男子15名、女子11名が参加しました。結果は、女子4×100mリレー



3位入賞を果たしたリレー出場メンバー

### 第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体)出場者

#### 【水泳】

男子少年A

200mバタフライ

文2の1 塩島 広規君(赤見中)

男子少年B

50m自由形第6位

100mバタフライ第8位

400mメドレーリレー第7位

文1の3 細澤 知弘君(小山中)

400mメドレーリレー第7位

文1の4 高村 光希君(明治中)

#### 【セーリング】

少年男子レーザージャル級

進2の5 茂木 陸君(館林中)

#### 【ボクシング】

フライ級第3位

普2の1 稲元 純平君(行田西中)

#### 【女子バスケットボール】

普1の1 星 ミチヨンさん(南河内中)

#### 【陸上】

少年A

男子400mハードル

普3の3 浅子 隆一君(佐野北中)

少年共通

男子5000m競歩

普3の4 高橋 悠太君(田沼西中)

#### 【柔道】

団体ベスト4進出

普3の1 大田 彪雅君(足利一中)

普3の3 佐俣 楓君(相生中)

普3の4 関 勝利君(足利一中)

#### 【剣道】

成年男子

職員 松澤 孝憲先生

4鈴木風香さん(大谷中)、4走普1の1成瀬純音さん(佐野北中)のメンバーで3位に入賞することができました。また、笹沼さんが女子100mハードルで7位入賞、文2の4時田優希君(三和中)が男子5000m競歩において7位に入賞することができました。

### 硬式野球部

2回目の選抜出場を逃す

硬式野球部は、10月31日から、埼玉県営大宮公園野球場、市営大宮野球場で行われた第68回秋季関東地区高等学校野球大会に県第一代表として出場しました。

秋季関東大会の出場は2年ぶり3回目。前回は優勝を飾り、選抜大会に駒を進めていただけに「夢よ再び」の思いで臨んだ大会でしたが、結果は11月1日の市営大宮野球場での1回戦で、山梨県代表の日本航空高校に、まさかの延長



スタンドで応援する生徒たち

十五回サヨナラ負け。力不足を痛感させられる結果となりました。この結果を真摯に受け止め、応援していただいた方々に勝利で返してできるようさらに努力を続けます。

### 軟式野球部

3年ぶりの秋季関東大会出場

11月5日から東京の立川公園野球場で、第56回秋季関東高等学校軟式野球大会が開催されました。初戦の相手は千葉県の千葉商科



一又の力投

大学の文2の2湯澤尚也君(赤見中)が、三回に2本のヒットから先制点を許しました。その後は立て直し、六回に文1の3小野田悠太君(佐野北中)の適時三塁打で同点となりましたが、最後は八回に再び連打を浴び敗れてしまいました。応援ありがとうございました。

白鷗足利

000001000  
00100001x2

千葉商大付(千葉)

### バトントワリング部

関東大会で銀賞に

10月24日、千葉ポートアリーナで、「第50回記念バトントワリング関東大会」が開催され、バトントワリング部が栃木県大会予選を第3位で通過し、出場しました。今年の演技タイトルは、「STORM」です。吉田兄弟が津軽三味線で奏でる激しく重厚な曲に振付をして頂き、「和」のイメージの衣装に身を包み、その曲調に合わせた表現を心掛け、演技しました。今年のチームは、人数が多かった



関東大会にて



# 全国大会

## 陸上競技部

全国駅伝、来年に期待

12月20日、全国高校女子駅伝競走大会が京都市・西京極運動公園陸上競技場を発着とするコースで開催され、本校チームが2年連続出場を果たしました。



2区で健闘した宍戸さん(ゼッケン9-2)

普2の2藤原瑠奈さん(真岡中)が務め、スタート直後より果敢に先頭グループについていきました。終盤は力尽きて、30位で2区の文2の3宍戸梨夏さん(八千代一中)に襷リレー。その後、宍戸さんが健闘を見せて順位を3つ上げました。1年生ながら3区出走を果たした文1の2野澤綺花さん(市貝中)、4区主将の文3の3宇佐美佳菜さん(足利二中)、急遽5区に抜擢された普3の4下畑円佳さん(今市中)と懸命に襷をつなぎましたが、残念ながら昨年の順位を下回る34位(59チーム中)

陸上競技部・ボクシング部・女子ソフトテニス部・女子ソフトボール部・柔道部・男子ソフトボール部・水泳部・書道部

でのゴールとなつてしまいました。しかしながら、野澤さん、宇佐美さん、下畑さんにとっては生涯はじめての全国駅伝レースであり、その緊張とプレッシャーに負けないう力走は、賞賛に値するものです。今大会での経験を糧に、次年度の活躍に期待したいと思います。

## ボクシング部

課題を見出した大会



普通コース  
2年1組  
稲元 純平君  
(行田西中)

12月20日、24日の5日間、東京都日野市ふれあいの森体育館で平成27年度全国選抜ボクシング大会兼JOCジュニアオリンピックカップ関東予選が開催されました。大会では一都七県8階級の代表者が集い、関東からの全国選抜大会出場権を掴むための熱戦が繰り広げられました。フライ級では、今年の開東大会で連覇を果たした、普2の1稲元純平君(行田西中)が全国選抜大会出場の切符を手に入れました。

全国選抜大会は3月22日、26日にわたり福島県会津若松市の河東

総合体育館で行われ、稲元君は優勝候補の大本命として大会の地に乗り込みました。しかし、大会前にインフルエンザにかかってしまったことで、十分な調整ができなままの出場となりました。

初戦で鳥取県代表選手と対戦しました。稲元君は調整不足のせいか、積極的な攻めで試合を作ることができず、ペースを掴めないまま第二ラウンドまで終了。第三ラウンドで巻き返しをはかりました。判定負けで無念の初戦敗退となつてしまいました。調整不足ながらも健闘したことで、調整の重要性を学んだ大会となりました。稲元君は今大会での経験を起爆剤として、すでに「夏の勝利」を目標に始動しました。今後の活躍に期待したいと思います。応援してください。皆様、ご声援ありがとうございます。

## 女子ソフトテニス部

全国選抜ベスト16

1月8日、所沢市民体育館で行われた関東高校選抜ソフトテニス大会の結果、本校は全国高校選抜ソフトテニス大会への出場権を獲得しました。

全国高校選抜ソフトテニス大会は3月28日、30日にかけて愛知県の日本ガイシホールで行われました。初戦となる2回戦は、須磨学園高校(兵庫県)との対戦でした。

1番の普2の1大久保瑞希さん(千代川中)・普2の4熊谷亜蓮さん(須賀川三中)ペアが、粘り強くゲームを展開し、4-1で勝つて流れを作ると、2番の総2の3松葉葵さん(山辺中)・普1の1酒井香乃さん(杉戸中)ペアも終始自分たちのペースで試合を展開し、4-1で勝ちました。3番の文1の1高橋のぞみさん(玉造中)・普2の2久我奈々子さん(西郷二中)ペアも大将ペアに4-2で勝利。3-0で2回戦を突破しました。

しかし、3回戦で高岡西高校(富山県)に0-2で負けてしまい、目標には届きませんでした。チームはまた前を向いて、夏のインターハイを目指します。



全国大会にて

## 女子ソフトボール部

インターハイに向けて新たな課題

4年振り8回目の出場となった全国高等学校女子ソフトボール選



全国選抜に出場した女子ソフトボール部員たち

抜大会が、3月19日、22日、千葉県成田市で開催されました。冬場の4か月間、徹底して基礎練習を繰り返して、体力向上と個々の技術力アップに努めてきました。チーム一丸となって優勝を目指しましたが、残念ながら力及びませんでした。

1回戦は、京都府西山高等学校と対戦しました。後攻めでスタートしましたが、初回に2点を先取され、その裏1点を取り返したものの、その後も追加点を許し、1対5で敗退しました。今大会の結果を真摯に受け止めて、目標や課題に対する努力をしっかりと積み重ね、夏のインターハイを目指して更に精進していきます。新人戦優勝に向けてサポートしてくれた卒業生を始め、応援してくださった多くの方々に感謝いたします。

## 柔道部 敗戦を糧に、成長を誓った全国大会

3月19日・20日、東京都日本武道館で第38回全国高校柔道選手権が行われ、本校からは団体戦1チームと、個人戦に3名が出場しました。



団体戦に臨む選手たち

全国から精鋭たちが集う非常にレベルの高い大会で、本校選手は持てる力を出し切って健闘しましたが、団体戦は初戦敗退。個人戦も上位入賞とはなりませんでしたが、今大会の敗戦は、選手・監督ともに大きな反省材料となりました。今後は夏のインターハイに向けて一つ一つの課題点を修正し、より良い結果を出せるよう、日々精進していききたいと思います。

## 男子ソフトボール部 全国での一勝にあと一歩

3月20日～23日、静岡県富士宮市において全国ソフトボール選抜大会が行われました。富士宮市での開催は今年が最後となります。1回戦の相手は福井県代表の啓新高等学校、メンバー数も11名とこちらと変わらぬ少人数のチームでした。初回、相手チームのエースの登板で三者連続三振を喫しました。しかし、その後出てきた2番手投手を打ち込み、三回表までに4得点、相手のエースをもう一度引きずりだしました。またこちらの投手の好投もあり、今までのない全国大会での展開にチームもおおいに盛りあげられました。しかし、相手のエースを打ち崩すことは難しく六回までに4対4の同点とされ、最終回サヨナラ負けの惜敗となりました。

今回も全国での一勝は果たすことができませんでしたが、少しづつ練習の成果が出てきていると感じています。次のインターハイに向けて引き続き部員一丸となって頑張ります。応援よろしくお願ひします。

【団体戦】	
普2の1	長島 立弥君 (足利一中)
普2の2	釜石 康太君 (八戸湊中)
普2の2	強矢 章友君 (秩父二中)
普2の3	菊池 優亮君 (足利一中)
普1の1	岩瀬 裕希君 (協和中)
文1の4	浅沼 亮太君 (足利一中)
【個人戦】	
普2の2	釜石 康太君 (八戸湊中)
普1の4	長島 斥弥君 (足利一中)
文2の3	小宮 太一君 (協和中)



堂々と入場する生徒たち

## 水泳部 水飛沫をあげて



文理コース  
1年4組  
高村 光希君  
(明治中)



文理コース  
1年3組  
細澤 知弘君  
(小山中)

3月28日～30日、東京辰巳国際水泳場において、第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ春

季水泳競技大会が開催されました。文1の3細澤知弘君(小山中)が50m・100m自由形、文1の4高村光希君(明治中)が200m背泳ぎに出場しました。インターハイよりもレベルが高く厳しい戦いのなか、ベスト記録を目標に力泳しましたが、結果は満足のいくものではありませんでした。細澤君は、50m自由形予選において、周囲の応援が力となり、最

## 書道部

## 書の甲子園優秀賞受賞

「書の甲子園」として知られる第24回国際高校生選抜書展(毎日新聞社・毎日書道会主催)に、総3の3田代麻衣さん(境西中)が、北魏の古典である「始平公造像記」を力強く臨書し、見事優秀賞に輝きました。その他にも平安時代の仮名文字である「寸松庵色紙」の臨書で、総3の2兵藤稜典君(太田東中)と空海の「灌頂記」を臨書した総2の2横山桃圭さん(常盤中)、顔真卿の「祭姪文稿」を



優秀賞を受賞した田代さんの作品

最高賞である天来賞に田代さん、佳作に兵藤君、横山さん、総2の2尾花真梨江さん(田沼西中)、文2の2峰岸希菜子さん(田沼東中)の4名が選出されました。5人の作品は11月21日～12月6日、他の入選作品と共に佐久市立近代美術館に展示されました。

# 白鷗大学だより

フルス PLUS ULTRA — さらに向こうへ。

## OB・OG訪問in白鷗大学 開催される

就職支援、活躍する卒業生を学内へ

「OB・OG訪問in白鷗大学」が2月13日、東キャンパスで行われ、60名の卒業生と約130名の在学生が参加しました。

これは、在学生に業界・企業研究を深めてもらおうと、進路指導部と同窓会組織「鷗友会」が共催して、社会で活躍する卒業生との交流の機会を提供するもので、今回で2回目となります。



卒業生と語らう在校生

OB・OG訪問とは、就職活動のステップの一つで、興味のある

業界や企業で働く先輩を訪ねて、直接話を聞くというものです。実際の業務内容、就労の喜びや苦勞を聞くことで、将来についての具体的なイメージを持ちやすくなるという効果が期待できます。

このイベントでは、在学生が卒業生のテーブルを廻って「面接で何を聞かれたか」「必要とされるのはどんな人材か」などを質問します。森金真里綺さん（経営学部3年）は、「先輩方が就活直前にはどんな準備をしていたのかなど、参考になるお話が沢山ありました。先輩方のアドバイスや進路指導部を活用し、志望企業から内定をいただけるように頑張ります」と語りました。先輩の本音を直接に聞くことが今後の活動の励みになります。

と、参加した学生たちから好評を博しています。

## 塚田投手、育成枠1位でオリックスに！

硬式野球部から10人目となるプロ野球選手誕生

2015年プロ野球新人選手選抜会議で、本学硬式野球部出身の塚田貴之選手（2016年3月、経営学部卒）が、オリックス・パフューズから育成枠1位で指名を受けました。



笑顔あふれる塚田選手

塚田選手は、茨城県古河市出身で、白鷗大学足利高等学校を経て、本学に入

が魅力の左腕投手です。塚田選手は指名された直後の記者会見で、「気持ちを前面に出して向かっていき、1日でも早く支配下選手になれるよう努力したい」と力強く語りました。

背番号は「120」。持っている力を120%出してもらいたいという球団側の願いが込められた背番号に、塚田選手への期待の大きさが伺われます。

元プロ野球選手で同高校の先輩でもある藤倉多祐本学硬式野球部総監督は、「二桁の背番号をもらってからがプロのスタートライン。スライダーはプロで通用する武器。磨きをかけ、球団から必要とされる選手になってほしい」と語りました。

塚田選手のオリックス入りで本学硬式野球部出身のプロ野球選手は、10人目となりました。

## 国際社会に対応した高大連携授業

### 入学前英語研修

白鷗大学では、創設時より国際理解教育に重きを置き、実践的な外国語教育や異文化理解等を学ぶ機会を充実させています。このような教育活動の一環として、2008年より白鷗大学足利高等学校の特別指定校推薦入試合格者を対象とした入学前英語研修を実施し



疑似体験型の研修風景

ています。

この英語研修の目標は、英語や文化（自国と他国）の授業を通して異文化理解を深めることと、英語コミュニケーション能力の習得

と向上です。「中学1年時から英語は苦手だった」という人でも「英語でコミュニケーションをとってみたい、自信を持って人前で話せるようになる」という希望は強く持っているものです。参加者のコメントに、「とても不安だったけれど、自分の気持ちを英語で相手に伝えられた時はうれしかった」とありました。

このような体験の積み重ねが、

## 白鷗大学へのアクセス



▶ポスター 総2年1組  
大作夏波さん(葛生中)



# 白鷗祭 2015

## PLUS ULTRA

### one hundredth anniversary!

新たな時代を我らの手で



テープカット



生徒会：エコキャップアート



保護者作品展  
(ご協力ありがとうございました)

## 白鷗祭、 盛大に開催される!

「PLUS ULTRA one hundredth anniversary! 新たな時代を我らの手で」をテーマに本校舎では3年に一度の白鷗祭が、10月30日・31日の2日間にわたって、開催されました。1日目は新校舎東門で、校長先生・PTA会長・生徒会長によるテープカットで幕を開けました。

今回は、全クラスが模擬店などで参加し、文化部の催し物や展示のほか、総合選択コースはマルベリーホールでエリア発表会を催しました。新体育館では、吹奏楽部の演奏や演劇部の公演、書道部のパフォーマンス、バントワリング部の演技、剣道部とボクシング部の招待試合など、「白鷗祭」を大いに盛り上げました。

準備から実施・片付けまで、仲間と協力し合って過ごした数日間は、苦勞も多かったことと思いますが、生徒たちにとっては高校生活のかけがえない思い出の一コマになったことと思います。



入場門



商3-1：不思議なアイスランド



有志バンド：Giraffe Live



書道部：書道パフォーマンス

体育館  
催し物



バントワリング部：STORM



吹奏楽部：私たちにしか出せない音がある

### 総合選択コース エリア学習発表会



芸術エリア：音楽系による合唱



ライフエリア：自作の浴衣を披露



ものづくりエリア：木工実演

# 本校舎トピックス

## 商業コース・総合選択コース インターンシップ

商業コース・総合選択コースでは、10月20日～23日の4日間、毎年恒例のインターンシップを行いました。

商業コースでは、足利市内の製造業、販売業、飲食業を中心に就業体験をしました。

一方、総合選択コースでは、これまでの市役所や市内の保育所、製造業に、新たに観光業、医療・社会福祉、サービス業、放送関係の事業所も加わり幅広い職種の実業体験をしました。

マナー講習や事前指導を重ねるうちに、不安を抱えていた生徒た



ホテルでのテーブルセッティング



保育園での体験の様子

ちにも就労への自覚が芽生え、前向きな姿勢でインターンシップに臨むことができました。

就業体験を通して、働くことの意義や礼儀作法・コミュニケーションの大切さ、収入を得ることの大切さなど、身をもって実感することができました。

また、11月25日には報告会を実施し、後輩たちに今回の体験を通して学んだことを伝えることができました。

## 普通・商業・総合選択コース 合唱祭

11月11日、普通・商業・総合選択コースの1年生計9クラスがマールベリー音楽ホールで、それぞれ

の思いを胸に合唱を披露しました。今年度は、J・P・O・Pを課題曲に設定し、各クラスの個性を存分に発揮した合唱祭になりました。コースによっては、全員での音楽の授業がないクラスもありましたが、放課後に時間を作り毎日計画的に練習を行いました。合唱祭当日の明るい表情でのびのびと歌う生徒たちの姿が印象的でした。

## 修学旅行 沖縄

3月3日～7日にかけて、本校舎の2年生を2班に分け、3泊4日の日程で沖縄修学旅行が実施されました。



沖縄の海を前にジャンプ

世界遺産に登録されている首里城をはじめ、自然豊かな沖縄を十分に堪能することができました。

沖縄というと、美しい海、リゾート地というイメージですが、太平洋戦争で唯一地上戦が行われ、多

結果は次の通りです。

- 最優秀クラス賞 普通コース1年1組
- 優秀クラス賞 商業コース1年1組
- 審査員特別賞 普通コース1年2組
- 最優秀指揮者賞
- 総1の1 藤井彩香さん(佐野南中)
- 最優秀伴奏者賞
- 総1の3 古旗佑衣さん(佐野南中)

くの犠牲者を出した悲しみの地でもあります。その戦争の悲惨さを「語り部」さんから直接聞くことができました。特に「命のバトン」の話は、自分の先祖がしっかりと命を繋いできてくれたからこそ、今の自分がいると聞き、命の尊さと平和の大切さを実感することができました。

また、観光だけでなく体験学習などもあり、充実した4日間となりました。

## 修学旅行 台湾

3月5日～8日、3泊4日の日程で台湾修学旅行が実施され、普通コース・総合コースから23名の生徒が参加しました。

4日間とも晴天に恵まれ、台北市内では台湾が世界に誇る博物館である故宮博物院、龍山寺や中正紀念堂などを見学して歴史と文化を堪能しました。また、世界で2



課題曲『今、咲き誇る花たちよ』を合唱する普通コース1組



中正紀念堂にて

# 富田キャンパストピックス

## 修学旅行

11月に、富田キャンパス2年生の修学旅行が実施されました。特別選抜コースと進学コースの生徒たちは、アメリカ西海岸、オーストラリア、沖縄の3コースから、各々が希望するコースを選択しました。中高一貫教育コースの生徒たちはハワイ（オアフ島、マウイ島）を訪れました。



～ハワイ～デンタラスの丘にて

アメリカ西海岸では、映画の聖地であるハリウッドを訪ねたり、本場のデイズニールランドで楽しい時間を過ごしたりと、日本では決して体験することのできない経験をする事が出来ました。観光だけでなくUCCLA訪問等、将来の進路選択に資する貴重な経験もありました。

オーストラリアではホームステイをしながら現地の語学学校に通い、普段と違った英語中心の生活



～西海岸～グランドキャニオンにて

を満喫しました。また、キュランダへの観光もありました。沖縄を選じた生徒たちは、エメラルドブルーの海でシュノーケリングやカヌー体験をする一方で、唯一の地上戦が行われた戦争の傷跡に触れ、平和の大切さを改めて感じたようでした。

ハワイを訪問した中高一貫の生徒たちは、ホームステイも経験し多くの著名な観光地も訪れました。さらにハワイ大学、マウイ大学、



～オーストラリア～現地校にて

カメハメハ高校と複数の現地の教育機関で様々な体験をするなど、大変有意義な時間を過ごすことができました。

全ての生徒たちが、それぞれ何か大切なものを得ることのできた修学旅行になりました。

## 作文表彰

9月27日に足利市民会館で行われた「ヤングの主張コンクール」で、進1の4高橋あまねさん（清流中）の「過去と未来を紡ぐ私たち」が第1位を受賞しました。また進1の3福元芽衣さん（太田城西中）、特1の1金子愛菜さん（清流中）は敢闘賞を受賞しました。「税に関する高校生の作文」では、進1の4板谷梨世さん（大泉南中）と文1の3能村直重君（箱田中）が足利税務署長賞、進1の1山口祐季さん（坂西中）が栃木県安足県税事務所長賞を受賞しました。「人権教育・啓発推進県民運動強調月間作文」では、進1の3川村日向子さん（小山三中）が佳作に入賞しました。「青少年作文」では、特1の1鶴川真帆さん（白鷗足利中）の「心豊かな社会へ」が最優秀賞を受賞したほか、特1の2原田芽依さん（館林二中）が優秀賞を受賞、文1の1杉山祐紀さん（毛里田中）が佳作に入賞しました。

## 茶道部紹介

茶道部には「おもてなしの心」を学ぶことを目標にした2年生12名と1年生5名が所属しています。外部講師である洪沢先生のご指導のもと、裏千家という流派のお点を毎週水曜日と金曜日に6号館内にある茶室（亘日の間）で練習しています。茶室には掛け軸や季節ごとのお花を掛け、心を落ち着かせてお茶を点てています。年に一度行われる栃高文連茶華道部会では、他の高校の茶道部の生徒と交流を深め、様々な流派を知ることが出来ます。3年に一度行われ



亘日の間にて

る富Can祭では、浴衣を着て、多くのお客さんにお点前を披露しました。

## センター試験応援

1月16日、昨年同様少し暖かさを感じる気温のもとで今年も大学入試センター試験が行われ、富田校舎・本校舎合わせて182名の生徒が試験に臨みました。

会場の足利工業大学の校門に3年生の担任を始めとした職員が待つ中、生徒が登校してきました。緊張している生徒、いつも通りの平常心でいる生徒、それぞれが思いの表情をしていました。生徒たちは先生方に激励されたり会話をしたりすることで、落ち着いて試験の教室へ向かいました。



受験会場前にて

初日に地歴・公民、国語、英語2日目には理科、数学が行われました。生徒たちはこの日までに積み重ねた努力の成果を発揮してくれたことと思います。

# スーパー・サイエンス・ハイスクール活動報告

## 生徒研究発表会

2月9日に足利市民会館大ホールにてSSH生徒研究発表会が開催されました。SSH活動も3年目の節目を迎え、今年度は、スライド発表が12グループ、ポスター発表が14グループと過去最多の発表数となりました。その中から三つの研究内容と報告を紹介します。

### 身近な雑菌に関する抗菌作用

昨年度より、アメリカのウイスコンシン州立大学と宇都宮大学工学部応用化学科の協力を受け、サリチル酸メチルの抗菌作用について研究してきました。これまでの課題研究で、一般的に鎮痛薬として知られるアスピリンから合成したサリチル酸メチルは、大腸菌への

の殺菌効果があることがわかっています。今年度は、大腸菌以外の細菌にも殺菌効果があるのかを調べるために、校舎内のトイレや流しから細菌を採取し、それを利用して実験を行いました。その結果、サリチル酸メチルは大腸菌以外の細菌にも殺菌効果があることがわかりました。生徒たちは、この結果を受け、サリチル酸メチル以外で殺菌効果がある身近な物質について興味を持ち、現在は、緑茶や酢、レモン果汁等を使用して細菌



スライド発表の様子

への抗菌作用を調べる実験に取り組んでいます。将来的には、身近な物質から抗菌スプレーを開発したいということです。

### 洗剤と汚れ

文理進学コースの2年生の課題研究グループは「洗剤と汚れ」をテーマに実施し、生徒研究発表会でスライドによるプレゼンテーションを行いました。

生活でつく汚れと落ちやすい洗剤について、洗剤と生地の組み合わせに着目して実験を行いました。その結果を、12月17日に文理進学



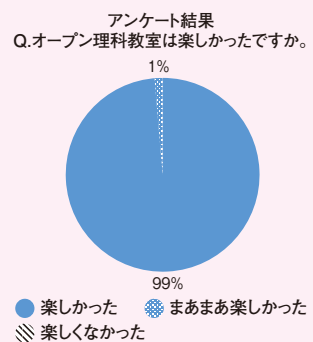
全体会の様子

## オープン理科実験教室

12月12日に足利市の山辺公民館にて、オープン理科実験教室が行われました。このオープン理科実験教室は山辺地区の小学校の3年生から6年生を対象とし、理科に対する興味・関心を高めることを目的としています。今回はSSH先進校である足利高等学校との共催で実施されました。



大きなシャボン玉をつくる



当日は天候にも恵まれ、館内だけでなく駐車場等も使って実験を行うことができました。高校生も小学生も楽しそうに実験を行い、2時間という時間があっという間に過ぎてしまいました。アンケート結果からもわかるように今回のオープン理科実験教室は大成功のうちに幕を閉じました。今後もこのような活動を続けていきます。

## プラナリア

特別選抜コース、進学コースの5名は、宇都宮大学農学部松田勝教授のご指導の下、プラナリアの研究を行いました。まずは名草川、出流川で採取したプラナリアの特徴の比較を行いました。その後、DNAを抽出し、PCR法を用いてDNAを増幅させ、その違いについて研究しました。その塩基配列を調べた結果、名草川と出流川

のプラナリアは別の属のものであり、出流川のプラナリアは外来種であるということがわかりました。高校ではできない研究に生徒達も熱心に取り組んでいる様子が見られました。今後は、データ数を増やし、プラナリアの地域差についてさらに調査を進めていく予定です。

※プラナリア  
淡水にすむウズムシ綱プラナリア科の扁形動物。非常に優れた再生能力を持つ。

### <スライド発表>

- (1) 足利市再興計画
- (2) ～伝承文化 ジャパンブルー～ 建て染と生葉染
- (3) ゼラチンを用いた酸素活性の評価
- (4) 食品の抗菌作用
- (5) 身近な雑菌に対する抗菌作用
- (6) 光合成と糖の量的関係
- (7) 暗算課題中の音楽聴取によるリラクセス効果～脳波による検討～
- (8) マイヅルテンナンショウの性成熟
- (9) 洗剤と汚れ
- (10) 深海からみた地球
- (11) ヒツジ子宮内胎児へのiPS細胞移植手術について
- (12) 乳酸菌・糠漬け

### <ポスター発表>

- (1) 水陸両用車の開発
- (2) 人工知能プログラミング～逆〇×ゲーム～
- (3) 紫外線の殺菌効果に関する実験
- (4) 洗剤合成プロジェクト
- (5) プラナリア
- (6) あなたの食べているホウレンソウは雌?雄?
- (7) フクロウの生態と里山環境
- (8) チャートから過去の地球環境を読み取る
- (9) 好成績を収めるためには
- (10) がんと食生活
- (11) 数字について
- (12) コンディショニング指導の効果
- (13) ～伝承文化 ジャパンブルー～ 建て染と生葉染
- (14) ものづくりの変遷～進化した鉄鋼材料 ハイテン～

コース課題研究で発表し、最優秀賞に選ばれ、校内推薦により今回の参加となりました。

今後汚れる種類を増やし、温度を変え、洗剤の濃度も考察し、より定量的な実験をしていきます。

# PTAだより

一世紀の時を経て

PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様  
御卒業おめでとうございます。

白鷗大学足利高等学校で学んだ、3年間の思い出が数え切れないほど、浮かんでいることと思います。これからは高校生活で培った「ブルス・ウルトラ」の精神と、諸先生方から教を受けた技術や知識を生かして社会人として、そして

学生として大きな夢に向かって前進してください。

ところで、卒業生そして在校生の皆さんは、昨年ラグビー日本代表チームがワールドカップで活躍したことをご存知だと思います。過去に日本チームは1勝しかしたことがなく、2勝目の壁を崩すことができませんでした。しかし南アフリカとの試合の終盤で、同点のペナルティゴールを狙うのではなく、逆転のトライを目指して見事に勝利しました。これこそがブレイク・スルー(壁を打ち破れ)の

まいります。今後も「PLUS ULTRA」の精神で、新しいこ

## — 生徒会役員決定 —

本年度創立100周年を迎え、本校舎では新体育館や新校舎が完成した中、新生徒会が11月4日に発足しました。新生徒会メンバーは、本校舎15名、富田校舎14名の計29名です。その大半が新メンバーですが、自分たちのやれることを何でもやるうという意欲は十分あります。今まで行っていた登校時の挨拶運動、生徒会新聞「団欒」の発行、募金活動、ボランティア活動などを引き継いで実施して



本校舎生徒会役員

- |      |     |             |
|------|-----|-------------|
| 会長   | 総の二 | 阿左美慎吾(吾妻南中) |
| 副会長  | 文の一 | 須藤隆寿(高崎中)   |
| 書記   | 商の一 | 若杉マユミ(大田東中) |
| 議長   | 文の三 | 小林弘明(大田北中)  |
| 副議長  | 文の二 | 寺内喬紀(田沼東中)  |
| 書記   | 商の一 | 松本 光(坂本西中)  |
| 会 計  | 普の二 | 中道千咲(小山三)   |
|      | 普の四 | 勝沼千都世(木崎中)  |
|      | 文の二 | 蘆澤 仁(清流中)   |
|      | 文の三 | 松本瑠美子(境西中)  |
|      | 文の四 | 小垣三穂(佐野城中)  |
|      | 商の一 | 花立駿斗(佐野北中)  |
|      | 文の三 | 吉田悠人(桐生中)   |
|      | 文の四 | 山崎真緒(伊勢崎中)  |
| 会計監査 | 総の二 | 塩澤光輝(乙女中)   |



富田校舎生徒会役員

- |      |      |             |
|------|------|-------------|
| 副会長  | 進の一  | 兵藤右京(佐野西中)  |
| 議長   | 進の二  | 横塚彩香(定利北中)  |
| 副議長  | 特進の一 | 平澤千沙乃(定利二)  |
| 書記   | 進の一  | 平川 萌(佐野北中)  |
| 会 計  | 特進の二 | 野木村実咲(明和中)  |
| 会計監査 | 進の四  | 猪野塚峻(大田城西中) |
|      | 進の四  | 中里 護(広沢中)   |
|      | 進の五  | 牧田夏樹(蘭々田中)  |
|      | 進の五  | 仙波未来(星が丘中)  |
|      | 特進の二 | 橋本紗希(白鷗足利中) |
|      | 進の一  | 山口慶喜(大東中)   |
|      | 進の三  | 大和優奈(大田東中)  |
|      | 進の三  | 鈴木瑠依(大谷中)   |
|      | 特進の二 | 大久保保音(大田西中) |

精神だと思えます。

これからの社会や学校生活の中には、大きな試練や困難が待ち受けているかも知れません。皆さんには、自分自身の前に立ちほだかる壁を打ち破る勇氣を持って、毎日の努力を怠らず、自分の夢を追い続け、自分自身の力を信じて前進してほしいと思います。

教職員そして保護者たちも力を合わせ、生徒たちの大きな夢が実現するよう、充実した活動に取り組んで行きたいと思っております。

### 新ALIT ヘザー先生着任

アメリカインディアナ州よりジェニー先生の妹さんであるヘザー先生が来日され、ALITとして

ともにも積極的にチャレンジし、歴史と伝統のある本校の生徒会役員

て着任されました。



ヘザー・ブルック・サンブソン先生

初めまして。ヘザー・サンブソンです。老子は「千里の道も一歩から」と言いました。それが実際のもの

であれ、比喩であれ、千里の旅ともなればやる気を失ってしまうかもしれません。「できない」「無理だ」と思うのは簡単です。しかしこの考えはどの国にも共通しています。あなた一人ではありません。

わたしは英語や文化を通して、みなさんの「できない」を「できる」に変えたいと思います。そのとして、日々成長していきます。

最初の一步を踏み出すお手伝いをしようとして日本に来ました。将来皆さんが英語の大家にはならなくても、ネイティブスピーカーから英語を学んでよかったです。思ってたより幸せです。人生とは結局は経験という旅なのです。

### 編集後記

1915年に17名の女子生徒の教育に始まった本校も、今年度100周年を迎えました。ゼロからスタートして約5万人の卒業生を世に送り出しました。

「ゼロ」には、無限の可能性があります。それは、様々な可能性を想定して最善を創り出し、必要性を感じることでアイデアも生み出す大きな力です。100周年の記念事業の一つとして3年前の5月、旧校舎の一部解体が始まった本校舎の新築工事間もなく完了します。

多くの暫定的処置に必要性を実感し、新旧交代に思いを馳せながらパワーを蓄え、次の100年に向けて「ゼロ」からスタートです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。  
編集・校報委員会  
発行・白鷗大学足利高等学校  
足利市伊勢南町3の2  
0284-410890  
制作・(有)コーエイプロセス  
発行日・平成28年3月31日